

令和6年度

離島・過疎地域づくりDX促進事業

(高齢者等のみまもり支援事業)

(実績報告書)

株式会社おきでんCplusC



目次

1	弊社概要及び業務実績について	- 1 -
	(1) おきでんCplusCの概要と取組について	- 1 -
	(2) おきでんCplusCの業務実績について	- 5 -
2	取組内容	- 7 -
	(1) 概要	- 7 -
	(2) 事業に当たっての現状認識	- 7 -
3	実績報告	- 10 -
	(1) 対象世帯の募集及び選定等	- 10 -
	(2) 対象世帯への「みまもりキット」の設置	- 21 -
	(3) みまもり支援体制の構築及び運用	- 23 -
	(4) アンケート調査の実施	- 29 -
4	事業の成果	- 40 -
	(1) 概要	- 40 -
	(2) 詳細	- 40 -
	(3) 自走化に向けた次年度の取組	- 42 -

1 弊社概要及び業務実績について

(1) おきでんCplusCの概要と取組について

株式会社おきでんCplusCは、沖縄電力株式会社により、ジャパンインテグレーション、インスパイア・インベストメントと共に、最先端のIT技術を活用して安心・安全な社会を実現する生活サポート事業を展開し、豊かな暮らしづくりを目的とし、2021年5月に設立された事業会社です。

<会社概要>



2024年3月31日現在

会社名	株式会社おきでんCplusC
設立	2021年5月13日
授權資本	70百万円
出資構成	沖縄電力株式会社 ジャパンインテグレーション株式会社 株式会社インスパイア・インベストメント
代表取締役	社長 仲程 拓 (沖縄電力 常務取締役)
企業理念	ひととひととの 結 (つながり) を通じて いつまでも元気で笑顔に満ちた暮らしづく りに貢献することで、お客さまに寄り添い、 ココロのエネルギー をお届けします。

これまで事業者等によって行われてきた高齢者の「見守り」は、カメラやマイク、ウェアラブル機器を活用して状況を把握するサービスや、緊急時に駆けつけるサービスなどが展開されてきました。これは詳細に高齢者の状況を把握することができる反面、専用機器の設置等によるコストや、カメラ等で見られているというプライバシー面での抵抗感があることなどの課題があります。

さらに近い将来迫りうる課題として、高齢者人口がピークを迎える2040年には自治体の人手不足や税収減少により、既存の医療・介護サービスの維持が困難になる「2040年問題」が懸念されております。

このような課題に着目し、おきでんCplusCでは、高齢者みまもりを通して、本人や家族へ安心・安全をお届けする「やさしいみまもり」をブランド展開しています。「やさしいみま

もり」では、世界最先端のWiFiセンシング技術を活用し、カメラやマイク等を使わずにプライバシーに配慮した上で、高齢者の屋内における睡眠・活動状況を「見える化」します。

この「やさしいみまもり」を実現するために、おきでんCplusCでは、米国メリーランド大学発ベンチャーOriginWireless Inc. が開発した技術を採用しています。同社は、世界最先端として業界標準をリードするイノベーション企業であり、最先端テクノロジーが集まる世界最大展示会CESでベスト・イノベーションと評されるなど、WiFiセンシング分野で業界をリードしている企業です。独自のAI技術（タイムリバーサル）を用いて、WiFi電波の反射の位相や到達時間のずれを逆算し、わずか30cmの精度で室内の人や物の動き・位置、さらに睡眠時の呼吸などを検出する「WiFiセンシング」を開発・提供しています。

さらに、シンガポールに本社を置くnamiが開発・提供するスマートプラグ型の活動検知センサー及び睡眠検知センサーを採用しています。世界標準規格準拠のIoT機器・ソフトウェア開発ベンチャーnamiは、「インテリジェント・センシング」をビジョンに、家庭・オフィス・工場・物流・倉庫等においてコンセントに接続するだけで、自動点灯・消灯や人の活動・睡眠、不審者検知などを実現するスマートプラグ型IoT機器・ソフトウェアを次々に開発、創業来わずかな期間で欧米通信キャリアやホームセキュリティ最大手企業との商用化・実証事例を実現しています。

namiがOrigin Wireless Inc. と資本業務提携をしていることから、2023年4月、沖縄電力、おきでんCplusC、namiの3社は世界標準規格搭載のIoT機器・ソフトウェアを活用した多彩な事業分野での協業・連携を加速させていくための覚書を締結しました。以降、おきでんCplusC「やさしいみまもり」では、namiが開発・提供するスマートプラグ型の活動検知センサー及び睡眠検知センサーを採用しています。

このような世界最先端のWiFiセンシング技術を活用し、自助による日頃の確認やコミュニケーションが活性化されることにより、共助・公助の負担を減らすとともに、関係者間の情報共有の効率化を図り、地域における面的な高齢者みまもり体制の構築に取り組んでいます。

図表1：OriginWireless Inc. / nami について

2024 年世界標準化技術でプライバシーに配慮 世界初最先端のWiFiセンシング技術を活用



最先端テクノロジーが集まる世界最大展示会

CESで「ベスト・イノベーション」と評された米国オリジン・ワイヤレス社のWiFiセンシング技術を活用。Wi-Fi電波の反射を位相や到達時間のズレを逆算する独自のAI技術（タイムリバーサル）を用いて、わずか30cmの精度で室内の人の動き・位置、睡眠時の呼吸などを検知します。

160以上
特許申請済

創業者Ray Liu博士はメリーランド大学のDistinguished Professor(名誉教授)を長く務め、2022年電気・通信工学分野の技術標準化機関IEEE会長に選出、さらに2024年には米国で最も栄誉とされる全米技術アカデミー会員に選出されました。



70以上
特許保有

IEEEが2024年9月標準化予定のWiFiセンシング規格802.11bfは同社技術がベースになっています。これに先駆け2022年からは同社技術搭載のPhilips IoT電球Wizが世界70カ国以上で販売中。世界最大セキュリティ会社Verisure、世界最大通信会社Verizonなどと戦略提携・サービス実現も進んでいます。



NATIONAL ACADEMY OF ENGINEERING



PHILIPS
WIZ

signify



世界標準スマートホーム IoT 機器通信規格 Matter 対応

プラグ&プレイかんたん WiFi センシング機器を活用



nami 世界最先端WiFi
センシング技術
の全世界

普及に大きな革新をもたらしたのが、シンガポールに2020年12月設立されたベンチャーnami社。創業者フランス人Jean-EudesとJerome Leroyは世界照明機器最大手PHILIPSブランドを擁するSignify社にWiFiセンシングIoT電球WIZを売却した起業家兄弟

nami社は設立直後の2020年にオリジン・ワイアレス社に出資すると並行して、2021年には全世界独占協業提携契約を締結。これまでのWiFiセンシング端末と比べて圧倒的にコンパクトで安価なスマートプラグを開発・提供。さらにソリューションに応じたさまざまなWiFiセンシングIoT機器を開発、米国通信最大手ベライゾン、ドイツ通信最大手ドイツテレコム、フランス通信最大手オレンジの他、欧米ホームセキュリティ最大手など多数の顧客実績を有しています。



verizon

Deutsche Telekom orange

ALARM.COM

verisure

2019年Amazon、Apple、Google、Samsung等が立ち上げたConnectivity Standards Alliance (CSA) 策定しているスマートホームの標準規格Matter。nami社CIO Jeromeは88社の世界的な企業が参加するアンビエントセンシング分科会長として世界をリードしています。

matter
amazon

SAMSUNG

図表 2：導入イメージ



(2) おきでんCplusCの業務実績について

2021年8月から2022年10月にかけて、おきでんCplusCと沖縄市、宜野湾市、豊見城市、那覇市、宜野座村、南城市、八重瀬町、名護市、浦添市、国頭村、大宜味村、東村は、高齢化の進展に伴う、自治体における高齢者みまもり等の業務負担の増加や、高齢者のみまもりを行う家族の時間的・経済的負担の増加という社会課題を解決し、いつまでも元気で笑顔に満ちた暮らしができる社会の構築を目指して、緊密に連携・協力して共同実証試験の実施に向けた協定を締結し、同12自治体とともに、内閣府が実施する令和3年度・令和4年度沖縄振

興特定事業推進費補助金にて、「ITを活用した高齢者みまもり体制構築実証事業」を実施いたしました。

「ITを活用した高齢者みまもり体制構築実証事業」においては、おきでんCplusC及び関係自治体のHPやSNSでの情報発信、関係自治体の広報誌への記事掲載、新聞やコミュニティラジオ等のメディア対応、自治会や老人クラブ等での個別説明会の開催等、さまざまな手段・媒体を活用した取組を実施いたしました。こうした関係自治体と連携した周知活動や説明会開催により、一人暮らしの高齢者を中心に合計634人にご利用頂きました。

さらに、2022年6月からは、国頭村・大宜味村・東村において、令和4年度離島・過疎地域づくりDX促進事業（高齢者等のみまもり支援事業）を実施しました。同事業は、「やさしいみまもり」を、安心・安全な地域コミュニティの形成を支援することで活性化し、社会課題の解決と持続可能な地域づくりを目指すものです。令和5年度から伊江村、石垣市も参画し、離島エリアへの活動も拡大しています。引き続き、令和6年度事業についても国頭村、大宜味村、東村、伊江村、石垣市の1市4村で高齢者みまもり事業に取り組んでいます。

図表3：沖縄県内における取組

- 沖縄県内14自治体で実証試験実施（2021年～2022年）
- 沖縄県事業にて、5自治体(国頭・大宜味・東・伊江・石垣)でサービス提供中
- 名護スマートシティコンソーシアムにて、実証試験実施中



2 取組内容

(1) 概要

「連絡網の整備及び離島・過疎地域における高齢者等のみまもり体制の構築」

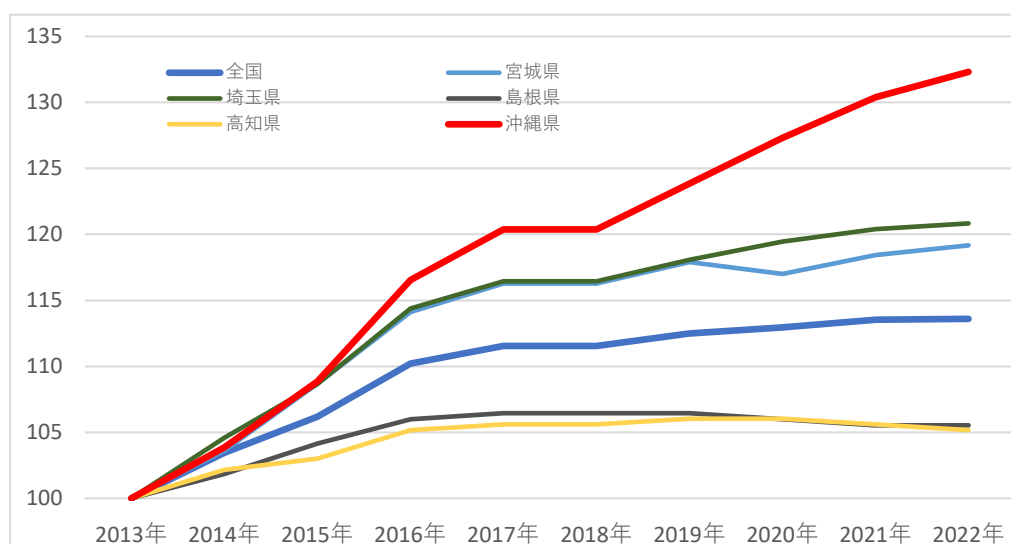
今後、高齢化とともに人口減少や、地域の高齢者福祉等の継続が危惧される離島・過疎地域の5市村（国頭村、大宜味村、東村、伊江村及び石垣市）において、高齢者等とご家族・地域関係者まで網羅した連絡網を整備し、ITを活用したみまもりサービスをはじめとする必要な機能を集約することで、地域に根ざしたコミュニティ形成、さらには高齢者福祉の充実等を図りました。

(2) 事業に当たっての現状認識

わが国では高齢化が急速に進展し、2023年8月の高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は29.1%になっています（総務省人口推計）。今後も高齢化率は上昇を続け、令和9（2027）年には30%、令和19（2037）年には33.3%と3人に1人が高齢者となる見込みです（国立社会保障・人口問題研究所日本の将来推計人口（令和5年推計））。

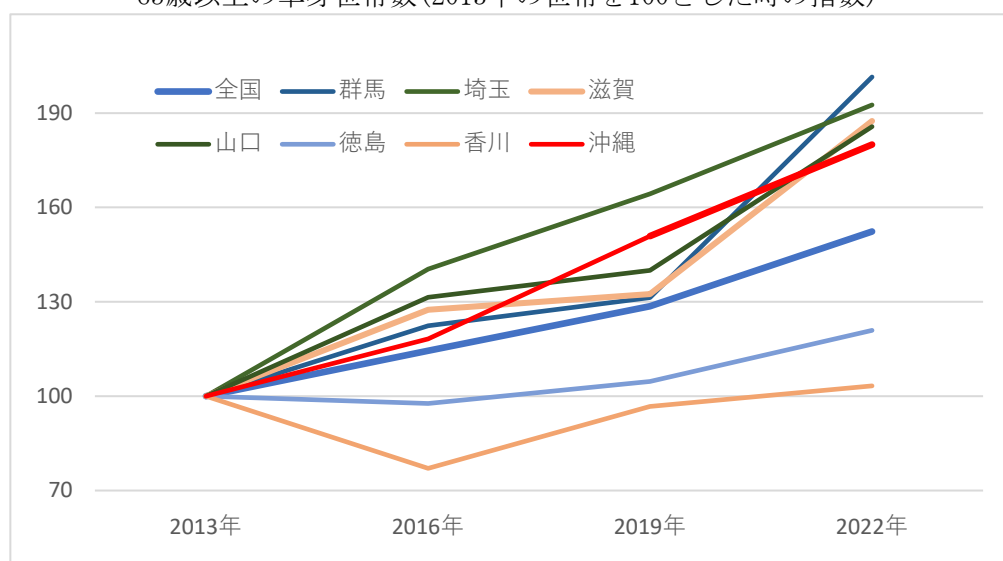
これまで高齢化率が全国より低い水準に留まってきた沖縄県でも、直近約10年間に於いて、高齢者人口や単身高齢者世帯の伸びが全国でも高い水準で伸びています。特に今後の高齢化率は全国でも最も早いペースで進行することが予測されており、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2050年には65歳以上の高齢者人口が現在の約140%を超えるとされています。

図表4：高齢者人口の伸び
高齢者人口（2013年の人口を100とした時の指数）



総務省 人口推計より作成

図表 5：単身高齢者世帯の伸び
65歳以上の単身世帯数(2013年の世帯を100とした時の指数)



厚生労働省 国民生活基礎調査より作成

市町村人口推計によると、人口の社会減少は他地域への転出により発生します。一般的には仕事や学業、婚姻等の理由で転居される方が多いことから、これまで親子で同居されていた場合には、子世代の転出により、高齢者の方とその子世代の方が離れて暮らすことになると考えられます。こうした背景から沖縄県における単身高齢者世帯数は増加傾向にあり、この傾向は今後も続くものと考えられます。

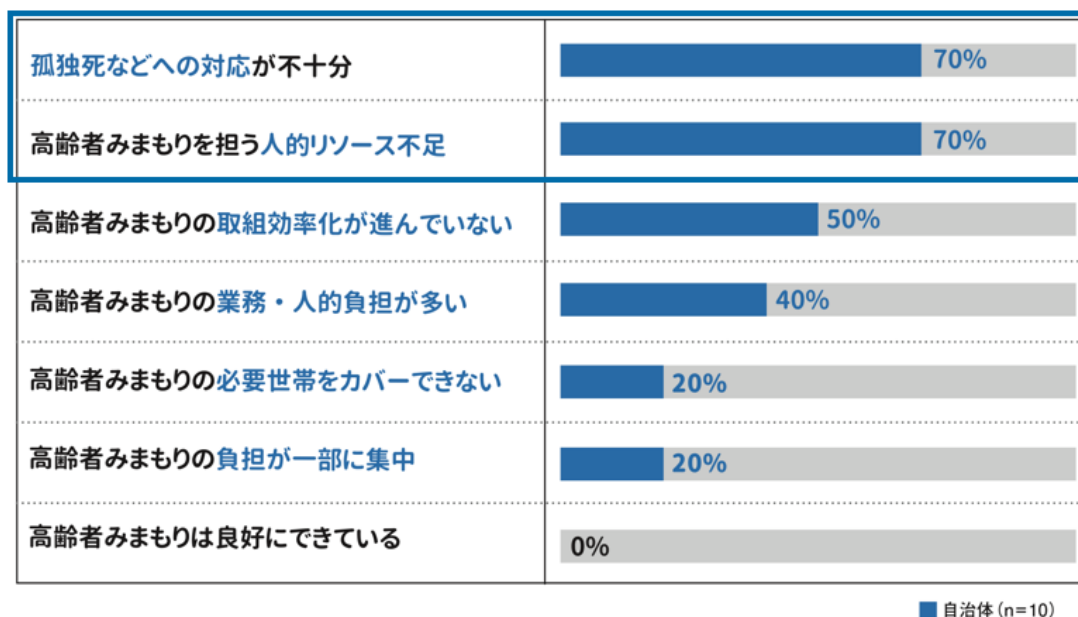
こうした中、高齢者福祉の充実に向けては、各自治体において、社会福祉協議会や自治会等と連携し、高齢者を見守る様々な取組が行われています。例えば、高齢者単身世帯を自治会や地域ボランティア等が定期的に訪問したり（日常的見守り活動）、食事や保健飲料を宅配する際に住民である高齢者と接触したりすることを通じて、安否確認等が行われていますが、いずれの自治体においても、高齢者の人数に対して十分なサービス提供とはなっておりません。

こうした取組の多くは社会福祉協議会や自治会等によるボランティア活動により行われており、その手法も直接の訪問や電話等での安否確認に限定されてきました。高齢者の増加に加え、先に述べた人口減少により、こうした取組の担い手は今後一層不足し、特に都市部に比べて一層の人口減少が見込まれるほか、各世帯が分散している中山間地域では、交通アクセスの観点からも高齢者世帯への見守りにかかる支援者に対する負担が増加していくことが見込まれます（なお、こうした取組を中心的に担っている民生委員は、沖縄県では全国と比較して不足しており、その観点から見守りの担い手の不足が危惧されています。）。

また、人口減少並びに単身高齢者の増加により、高齢者の孤独・孤立に関する課題も生じています。特に高齢者の孤独・孤立は孤独死に繋がりがやすく、これまで参加自治体へ実施したアンケート調査からも地域の高齢者に対する孤独死に係る対応への不安は示されており、社会問題として顕在化しつつあります。

図表 6：自治体アンケート調査「現在の高齢者みまもり対応の現状」

沖縄県12市町村大規模社会実証 参加自治体アンケート調査「現在の高齢者みまもり対応の現状」



以上のことから、持続可能な高齢者みまもりを実現するにあたっては、ITを活用しながら離れて暮らす家族や地域関係者が協力し、安心・安全な新しいみまもり体制を網羅的に構築する必要があります。さらに、最近では高齢者を狙った特殊詐欺被害が問題化していることから、みまもり事業の信頼性を担保するため、自治体や地域関係者と事業者が相互に連携し、地域発展に寄与する公的な事業であることを住民へ周知し、不安等を払拭した上で事業活動を行うことが重要になります。

3 実績報告

(1) 対象世帯の募集及び選定等

県や自治体、当該地域関係者等と連携の上、本事業に参画する対象世帯の募集を行いました。

【事業参加世帯に関する基本的考え方について】

ア 参加要件

- (ア) 対象地域内に居住している世帯であること。
(対象地域：国頭村、大宜味村、東村、伊江村、石垣市)
- (イ) 参加者のみまもりについて、当該参加者の居住する地区の自治会や民生委員等の共助の担い手から同意が得られていること。
- (ウ) みまもり支援を受ける必要があると認められる世帯であること。

イ 選定方針

事業主旨を踏まえて、以下の順位で優先的に参加者を選定する。

- (ア) 対象地域外から移住してきた単身の高齢世帯
- (イ) 対象地域外に家族が居住している単身の高齢世帯
- (ウ) 上記のいずれにも該当しない高齢世帯
- (エ) 上記のいずれにも該当しない世帯

※(ウ) 及び(エ) に該当する者については、家庭環境、障害、疾病の有無等みまもり支援を行う必要性を十分に検討した上で選定を行う。

各市村においては、重点的に事業を実施することを想定した区域を定め、当該地域では集中的に募集活動を行いました。

重点地区の選定にあたっては、沖縄県や対象地域の自治体とも協議の上で候補地域を選定し、当該地域の区長（自治会長）に対する訪問・事業の説明を実施しました。

その結果、大宜味村では根路銘区と饒波区、東村では川田区、石垣市では栄区をそれぞれ重点地区として選定することとし、それぞれ区長に対し説明、了解を得ました。

【参考：大宜味村重点地区における進め方】

大宜味村においては複数回の協議から重点地区における普及率を100%にするため対象世帯を75歳以上の全世帯とし、対象世帯へのみまもりサービス導入までの作業を以下の流れで実施しました。

- ① 住民福祉課にて重点地区対象世帯のリストアップ。
- ② 住民福祉課から対象世帯向けに事業案内文書の発送。
- ③ 対象世帯向け説明会等の実施、申込書受領。
- ④ おきでんCplusCより本人・家族とみまもりキット設置に係る日程調整。

区長や民生委員と連携し、事業説明・申込書受領を重点地区内で継続。

⑤ みまもりキット設置

図表 8：説明会場の様子



他にも、新聞広告、自治体SNS発信、役場や公民館へのポスター掲示、地域関係者向け説明会、地域イベントへのスタッフの参加を通じた周知活動を実施しました。その他、個別の問い合わせ対応等を行いました。

図表 9：事業周知・説明会実施実績

No	日付	市町村	参加者	人数	場所
1	2024/6/10	大宜味村	自治体	2	役場
2	2024/6/10	東村	自治体	3	役場
3	2024/6/12	大宜味村	区長・高齢者	10	根路銘公民館
4	2024/6/13	伊江村	自治体	2	役場
5	2024/6/13	大宜味村	区長・民生委員	4	塩屋公民館
6	2024/6/14	東村	区長	1	川田公民館
7	2024/6/19	大宜味村	区長・民生委員	3	根路銘公民館
8	2024/6/19	大宜味村	区長	1	饒波公民館
9	2024/6/26	大宜味村	自治体	4	役場
10	2024/7/8	大宜味村	区長	1	饒波公民館
11	2024/7/11	東村	区長	1	川田公民館
12	2024/7/18	大宜味村	高齢者	4	高齢者宅
13	2024/7/18	伊江村	自治体	4	役場
14	2024/7/19	東村	自治体	1	役場
15	2024/7/23	大宜味村	高齢者	2	高齢者宅
16	2024/7/25	大宜味村	高齢者	2	高齢者宅
17	2024/7/29	東村	社会福祉協議会	1	社会福祉協議会

18	2024/7/29	国頭村	高齢者	2	高齢者宅
19	2024/7/31	東村	高齢者・家族	50	川田漁港
20	2024/8/5	東村	社会福祉協議会	2	社会福祉協議会
21	2024/8/6	大宜味村	区長・民生委員	5	公民館・共同売店
22	2024/8/7	東村	各区長	8	役場
23	2024/8/7	伊江村	区長・書記	4	東江上公民館
24	2024/8/8	大宜味村	民生委員	1	饒波公民館
25	2024/8/12	伊江村	高齢者	2	高齢者宅
26	2024/8/14	大宜味村	自治体	2	役場
27	2024/8/16	東村	区長	1	平良公民館
28	2024/8/19	東村	区長	1	川田公民館
29	2024/8/23	大宜味村	区長	2	饒波公民館
30	2024/8/28	東村	社会福祉協議会	1	社会福祉協議会
31	2024/8/31	大宜味村	高齢者・家族	49	旧大宜味小学校
32	2024/9/1	東村	高齢者・家族	65	川田公民館
33	2024/9/3	東村	高齢者・家族	2	高齢者宅
34	2024/9/4	大宜味村	自治体	1	役場
35	2024/9/11	大宜味村	区長・民生委員	2	根路銘公民館
36	2024/9/13	大宜味村	区長・民生委員	2	根路銘公民館
37	2024/9/17	大宜味村	区長・民生委員	2	根路銘公民館
38	2024/9/19	大宜味村	高齢者	1	高齢者宅
39	2024/9/19	大宜味村	高齢者	8	饒波公民館
40	2024/9/21	大宜味村	高齢者	14	根路銘公民館
41	2024/9/26	大宜味村	高齢者	3	根路銘公民館
42	2024/9/26	伊江村	高齢者	1	高齢者宅
43	2024/9/27	大宜味村	民生委員・高齢者	2	高齢者宅
44	2024/10/2	大宜味村	民生委員	1	饒波公民館
45	2024/10/3	大宜味村	区長	1	根路銘公民館
46	2024/10/4	大宜味村	高齢者	2	饒波公民館
47	2024/10/9	国頭村	区長・民生委員	2	与那公民館
48	2024/10/10	大宜味村	区長・高齢者	2	謝名城公民館
49	2024/10/11	大宜味村	包括	2	役場
50	2024/10/11	東村	区長	1	川田公民館
51	2024/10/14	大宜味村	区長	1	根路銘公民館
52	2024/10/14	大宜味村	高齢者・家族	3	高齢者宅

53	2024/10/21	大宜味村	区長・民生委員	2	根路銘公民館
54	2024/10/21	大宜味村	包括	3	役場
55	2024/10/26	石垣市	高齢者・家族	5	高齢者宅
56	2024/10/27	石垣市	高齢者・家族	4	高齢者宅
57	2024/10/28	東村	区長・高齢者	3	川田公民館
58	2024/10/29	大宜味村	高齢者・家族	2	高齢者宅
59	2024/10/31	大宜味村	高齢者・家族	2	高齢者宅
60	2024/11/6	大宜味村	高齢者・家族	2	川田公民館
61	2024/11/6	東村	区長	1	川田公民館
62	2024/11/8	伊江村	高齢者・家族	2	高麗者宅
63	2024/11/8	大宜味村	区長・高齢者	5	根路銘公民館
64	2024/11/11	東村	高齢者・家族	4	高齢者宅
65	2024/11/11	石垣市	高齢者・家族	4	高齢者宅
66	2024/11/12	石垣市	ケアマネージャー	10	役場
67	2024/11/18	国頭村	自治体	3	役場
68	2024/11/20	石垣市	ケアマネージャー	10	各事業所
69	2024/11/21	石垣市	ケアマネージャー	8	役場
70	2024/11/22	石垣市	ケアマネージャー	5	各事業所
71	2024/11/22	東村	高齢者・家族	3	高齢者宅
72	2024/11/25	大宜味村	高齢者・民生委員	4	高齢者宅
73	2024/11/27	国頭村	高齢者・家族	3	高齢者宅
74	2024/11/28	伊江村	自治体・社会福祉協議会	6	役場・社会福祉協議会
75	2024/11/29	東村	区長	1	川田公民館
76	2024/11/29	石垣市	高齢者・ケアマネージャー	6	高齢者宅
77	2024/11/39	石垣市	高齢者・ケアマネージャー	6	高齢者宅
78	2024/12/2	大宜味村	各区長	20	役場
79	2024/12/4	国頭村	各区長	30	役場
80	2024/12/4	大宜味村	区長	1	根路銘公民館
81	2024/12/5	東村	高齢者・家族	5	高齢者宅
82	2024/12/6	大宜味村	区長・民生委員	2	根路銘公民館
83	2024/12/10	伊江村	高齢者・家族	2	高齢者宅
84	2024/12/11	国頭村	高齢者・家族	3	高齢者宅

85	2024/12/12	東村	高齢者・家族	2	高齢者宅
86	2024/12/13	国頭村	高齢者	1	高齢者宅
87	2024/12/13	石垣市	区長・高齢者	5	高齢者宅
88	2024/12/14	石垣市	高齢者・家族	5	高齢者宅
89	2024/12/16	国頭村	高齢者	1	高齢者宅
90	2024/12/18	東村	高齢者・家族	3	高齢者宅
91	2024/12/19	東村	高齢者・家族	6	高齢者宅
92	2024/12/21	伊江村	高齢者・家族	3	高齢者宅
93	2024/12/23	大宜味村	区長	1	根路銘公民館
94	2024/12/26	石垣市	高齢者・家族	5	高齢者宅
95	2024/12/27	石垣市	高齢者・家族	5	高齢者宅
96	2025/1/8	大宜味村	自治体	9	役場
97	2025/1/14	大宜味村	区長・高齢者	3	高齢者宅
98	2025/1/15	東村	区長・高齢者	4	高齢者宅
99	2025/1/20	大宜味村	民生委員・高齢者	6	高齢者宅
100	2025/1/20	石垣市	ケアマネージャー	5	各事業所
101	2025/1/21	石垣市	ケアマネージャー	5	各事業所
102	2025/1/22	東村	高齢者・家族	4	高齢者宅
103	2025/1/22	石垣市	区長・高齢者	5	高齢者宅
104	2025/1/23	石垣市	ケアマネージャー	5	各事業所
105	2025/1/27	大宜味村	高齢者・家族	2	高齢者宅
106	2025/1/29	大宜味村	包括	3	役場
107	2025/2/3	大宜味村	区長・民生委員	2	根路銘公民館
108	2025/2/5	大宜味村	高齢者・家族	2	高齢者宅
109	2025/2/7	大宜味村	高齢者・家族	2	高齢者宅
110	2025/2/13	大宜味村	高齢者・家族	2	高齢者宅
111	2025/2/19	石垣市	高齢者・家族	3	高齢者宅
112	2025/2/20	石垣市	高齢者・家族	3	高齢者宅
			合計	563	

図表10：自治体広報誌への掲載

「高齢者等のみまもり支援事業」 無料利用者を募集します。



株式会社おきでんCplusCの提案する「やさしいみまもり」では、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、離れて暮らすご家族及び地域の関係者が連携し、自助・共助・公助が一体となった地域全体の高齢者等のみまもり体制を構築いたします。

今回のみまもりは、カメラやマイクは使わず、自宅へ「みまもりセンサー」を設置し、ご家族はスマホやタブレットで自宅にいる高齢者等の様子を把握することが可能になります。

伊江島で一人暮らしをしているおじいちゃんおばあちゃんの事で心配はありませんか？
高齢者が住み慣れた伊江島で長く過ごせるように、ご家族でみまもり、ご連絡を取り合うことで安心して過ごせる一つの手段になればと考えています。

くわしい事業内容については下記までお問い合わせください。

対象者 伊江村在住の65歳以上の方
募集期間 令和7年2月14日までに



プライバシーに配慮した「みまもりセンサー」等が、
離れて暮らすひとの活動・睡眠をやさしく表示します

24時間365日表示
時刻・通所表示

ふりかえり
24時間の動き
2023/09/07
睡眠の状況

申込方法 QRコードをカメラで読み取ると申し込みフォームが開きます。
ご家族とご相談のうえ、お申し込みください。

株式会社おきでんCplusC
<https://www.cplusc.co.jp/contact/>



おきでん
CplusC

伊江村申込み
フォーム



お問い合わせ 株おきでんCplusC／☎0120-425-065(平日:9:00～17:00)
住民課(伊江村地域包括支援センター)／☎0980-49-2002

伊江村 2024 年 11 月号

2025年2月末まで
無料提供中

カメラを使わずに高齢者を見守る 安心サービス「やさしいみまもり」

現在、大宜味村にお住まいの65歳以上の方を対象に、見守りサービス「やさしいみまもり」を2025年2月末まで無料で利用できる取り組みを行っています。

この見守りサービスの特徴は、プライバシーに配慮しカメラ等は使わず、センサーを設置するだけで居住者の動きや睡眠時間を検知しデータ化できることです。また、記録されたデータはご家族の方がスマホやタブレットで簡単に確認することができます。

今回、このサービスを利用しているご家族と、サービス運営企業の担当者にお話を伺いました。

◆導入前に不安や悩みはありませんでしたか？

この見守りサービスで使うタブレットが届いたとき、父は戸惑っていました。子どもが使ってほしいと言うのでとりあえずやってみたものの、使い方はもちろん、タブレットが何なのかも初めはわからない状況でした。

この機械ね、タブレット、最初はもちろん操作方法もわからないですわね。寝ている時間と寝ていない時間を計るもの、ということは何となくわかったんですけど。

こういう見守りサービスは他にもあると思うのですが、スタッフの方がここ大宜味村まで来ていろいろフォローしてくださるところで大変助かっています。また、地元企業である沖縄電力さんの系列企業という信頼感もありますし、その点での安心感もありました。同じ県内ということで近い感じもしますね。

◆「やさしいみまもり」における緊急時の対応やサポート体制について教えてもらえますか？

佐久本さん

見守られているかたの動きや睡眠が一定時間(※)検知されない場合、アラートが発せられます。アラートのタイミングは、見守られているかたの生活や健康状態に合わせて設定できます。※利用者による個別設定が可能(1時間～47時間)

アラートの受信者として複数名の登録が可能ですので、見守る目を増やすことで異変に気づきやすくなり、安心感の向上にもつながります。

◆「やさしいみまもり」を他の人にも勧めたいですか？

はい、はじめにお伝えしたように妹の夫に勧め、実際に彼らも使っています。子どもたち家族は那覇と名護にいて、彼自身はいま一人で住んでいるものですから。

この「やさしいみまもり」というサービスは、見守られる人のプライバシーへの配慮をコンセプトとして開発されています。なので、カメラでチェックすれば一目瞭然なものを、取ってWi-Fiセンサーだけを使ってデータを取っている点が、とてもいいと思うので人に勧めたいです。



○「やさしいみまもり」利用者(父:大宜味村在住)
○「やさしいみまもり」利用者(子:大宜味村在住)
○佐久本さん(左から2番目):株式会社おきでんCplusC(運営企業)
○純元さん(一番左):株式会社おきでんCplusC(運営企業)



誌面の都合上、インタビューの一部を抜粋して掲載しています。
記事全文につきましては、こちらよりご確認ください。

お問い合わせ先

株式会社 おきでんCplusC(シープラスシー) ☎098-870-9610(平日9:00～17:00)
大宜味村住民福祉課 ☎0980-44-3003

大宜味村 2024年12月号

高齢者等のみまもり支援事業について

～沖縄県「離島・過疎地域づくりDX促進事業」のお知らせ～

おきでんシープラスシーの提供する「やさしいみまもり」は、WiFiセンシング技術を活用した「みまもりセンサー」を自宅に設置することで、離れて暮らすご家族や地域の関係者がみまもることができます。**カメラやマイクを使わない**ので、プライバシーにも配慮したみまもりです。

離れて暮らすおかあさん・おとうさんの様子が心配だなという皆さま、この機会に「やさしいみまもり」を試してみませんか？

■ 対象者 国頭村内在住の65歳以上

※ご家族と同居している方、ご家族がお近くにお住まいの方も申し込み可。



説明動画

**費用
無料**

※沖縄県「離島・過疎地域づくりDX促進事業」対象

※みまもりセンサー代無料

※令和7年2月末まで利用料は無料。

左記 QR コードよりお申込みください

お問い合わせ：おきでんシープラスシー

TEL：0120-425-065



国頭村 2025年1月号

高齢者等のみまもり支援事業について

～沖縄県「離島・過疎地域づくりDX促進事業」のお知らせ～

おきでん CplusC の提供する「やさしいみまもり」では、カメラやマイクを使わずに、WiFi センシング技術を活用した「みまもりセンサー」を自宅に設置することで、離れて暮らすご家族や地域の関係者がプライバシーに配慮した形でみまもることが可能になります。

離れて暮らすおかあさん・おとうさんの様子が心配だなという皆さま、この機会に新しい「みまもり」を試してみませんか？

対象者 石垣市内在住の65歳以上

※ご家族と同居している方、ご家族がお近くにお住まいの方も申し込み可。

費用：無料

※沖縄県「離島・過疎地域づくりDX促進事業」の対象であり、令和7年2月末まで利用料は無料。

QRコードよりお申し込み下さい

【問合せ】おきでん CplusC ☎0120-425-065



石垣市 2025年1月号

図表11：新聞広告

やさしいみまもり

沖縄電力グループ
おきでん CplusC

0120-425-065
受付時間 平日9:00～17:00

沖縄電力グループ【おきでん CplusC】がお届けする

やさしいみまもりを **無料** でご利用頂けます。

対 象 石垣市・国頭村・大宜味村・東村・伊江村にお住いの65歳以上の方

期 間 令和7年2月28日まで



お申込みは
コチラ

活動検知センサー



手軽に

設 置



睡眠検知センサー



スマホ
で確認

**24時間
365日**

* 本無料提供は、沖縄県補助事業「令和6年度難島・過疎地域づくり DX 促進事業（高齢者等のみまもり支援事業）」により株式会社おきでん CplusC が提供するものです。

図表12：地域関係者向け説明会の様子



こうした活動の結果、本事業におけるみまもりサービス導入世帯数は111世帯となっています。その属性の内訳は、以下のとおりです。

図表13：サービス導入世帯の属性情報一覧

導入世帯数

(単位：世帯)

	国頭村	大宜味村	東村	伊江村	石垣市	計
令和4年度 継続	5	8	5	－	－	18
令和5年度 継続	1	6	8	10	21	46
令和6年度 新規	1	17	8	2	19	47
合計						111

世帯構成

(単位：世帯)

	国頭村	大宜味村	東村	伊江村	石垣市	計
独居	7	23	12	9	27	78
同居家族有り	0	8	9	3	13	33
合計						111

年齢層

(単位：世帯)

	国頭村	大宜味村	東村	伊江村	石垣市	計
65歳～69歳	0	3	2	0	0	5
70歳～74歳	2	4	1	3	3	13
75歳～79歳	2	4	3	2	5	16
80歳～89歳	1	15	11	6	16	49
90歳以上	2	5	4	1	16	28
合計						111

登録完了した家族の数

県内在住	131名
県外在住	12名
計	143名

- ・地域別累計導入世帯数の内訳は、国頭村が7世帯、大宜味村が31世帯、東村が21世帯、伊江村が12世帯、石垣市が40世帯となりました。特に、大宜味村においては、区長や民生委員による積極的な事業参加・募集活動へのご協力が得られたことから、重点地区における導入世帯数を増やすことができました。

根路銘区 対象世帯数20世帯の内、12世帯で導入済（普及率60%）

饒波区 対象世帯数12世帯の内、6世帯で導入済（普及率50%）

- ・利用者111世帯の世帯構成は、独居世帯が約7割（78世帯）を占めています。同居家族がいる世帯は約3割（33世帯）と少なく、当初の想定通り、独居高齢者世帯を中心とした構成となっています。
- ・利用者の年齢構成（※2025年2月28日の年齢で算出）は、80歳以上の世帯が多く、特に大宜味村では80歳～89歳の世帯が15世帯と顕著になりました。90歳以上の世帯も全体で28世帯存在し、より高齢層への導入が進んでいると言え、後期高齢者ほどもみもり事業のニーズが高い結果となりました。

おきでんCplusCの事業展開では利用者（高齢者）に関する情報の他に緊急時の連絡先をデジタル整備（DX化）する「連絡網整備」を実施しています。利用者の情報として、要支援・要介護情報等と併せて「1人で立つことや歩くことができない」「音が聞き取りにくい」「物が見えにくい」等の詳細情報を回答する項目も設け、緊急時の実用性を高めています。また、かかりつけ医・服薬情報にも一定数の回答があり、担当医の名前を登録する方もいました。これらの情報をデジタル整備することで、高齢者の状況に応じた更新作業を適宜行うことができ、登録情報の陳腐化を防ぐことができます。これにより確実かつ正確な関係者への情報共有を図ることが可能となり、さらに安心な高齢者みまもりが可能になります。

緊急連絡先として複数名の家族を登録でき、登録された家族はお手元のスマートフォンアプリから高齢者の睡眠や活動等を24時間365日確認することが可能です。登録した家族情報はアプリから更新することができるため、自治体ではなく、家族により情報更新作業を実施することになります。一人の高齢者をみまもる目を増やすことで、高齢者本人だけではなく、離れて暮らす家族に対する安心にも繋がります。また、緊急連絡先については、利用者と登録される方の双方の同意があれば家族以外の登録も可能であり、友人・知人や自治会関係者を設定することが可能です。

図表14：登録情報一覧画面イメージ

利用者情報

利用者ID	利用者名	フリガナ	性別	生年月日	住所	電話番号	
00000001	*****	*****	●	****/*/**	*****	*****	

家族

共助公助

デバイス

利用者家族情報一覧

新規登録

追加

主家族	家族名	フリガナ	続柄	住所	電話番号		
★	*****	*****	●	*****	*****		
	*****	*****	●	*****	*****		
	*****	*****	●	*****	*****		
	*****	*****	●	*****	*****		

（２）対象世帯への「みまもりキット」の設置

対象世帯宅には、居宅内での活動状況等を把握できるよう、弊社サービスの「みまもりキット」を設置いたしました。「みまもりキット」は、以下の機器で構成されています。

① みまもりセンサー（３台）

居宅内における人の活動及び睡眠状況を検知するセンサーです。namiが開発・提供するスマートプラグ型の活動検知センサー及び睡眠検知センサーを使用しました。

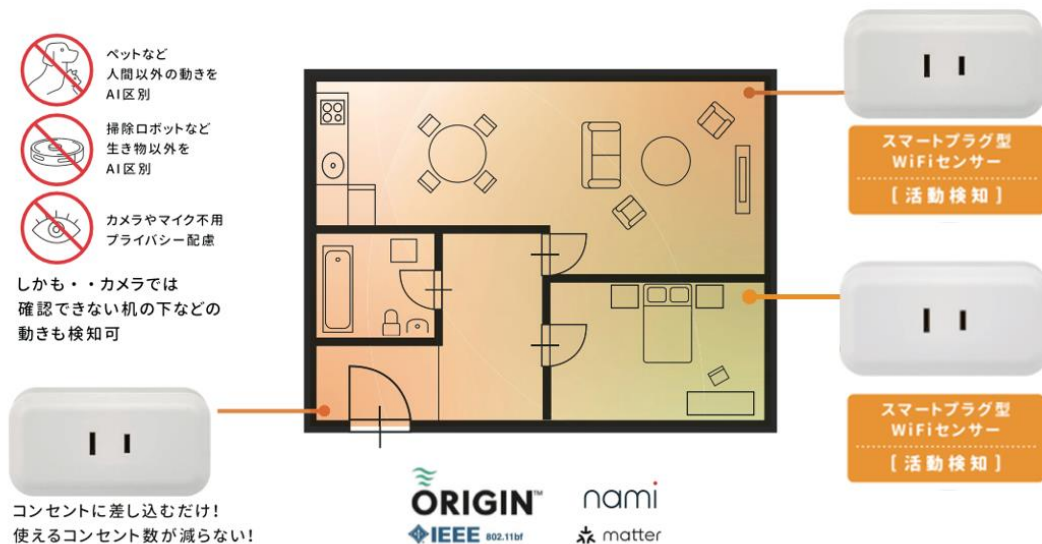
② WiFiルーター（１台）

多くの高齢宅にはインターネット環境が整備されていないため、SIMカード挿入型のルーターをおきでんCplusCより提供し、実証試験参加者宅のインターネットWiFi環境を構築しました。

図表15：みまもりキット一式イメージ

やさしいみまもり 標準キット

カメラ・マイク・ウェアラブル一切無しだから、高齢者にとって煩わしさゼロで、プライバシーにもじゅうぶん配慮。
世界最先端・標準化規格WiFiセンシングAI技術・機器。ペットや扇風機などを区別して検知。



設置に関しては、おきでんCplusCスタッフによる設置を希望した方には、スタッフが自宅を訪問し、利用者本人または家族に対して、実証試験内容説明・機器設置を行った上で、やさしいみまもりアプリのインストール手順説明も併せて実施しました。さらにスマートフォン端末の操作に不安を感じられる利用者に対しては、機器設置の際、弊社スタッフから実機を使った操作説明等を行い、利用者が安心して操作できるようフォローしています。

また、WiFi電波状況等によりうまく活動状況が検知できない場合に、機器の配置を調整することで改善を図っています。弊社スタッフが設置作業を行った世帯については、こうしたご相談に対してスムーズに対応ができるよう、設置状況等についてレポートを作成し、担当者間で共有しました。

本人または家族によるDIY設置を希望された方に対しては、「みまもりキット」及びその設置マニュアルを郵送し、ご自身でみまもりキットの設置を行えるようにしました。

みまもりセンサーは上述のとおり「居宅内の活動状況」及び「睡眠状況」の検知を基本とした仕様となっています。居宅内の活動状況を24時間・365日リアルタイムで検知しており、検知データに異常をきたす状況（活動及び睡眠が一定時間検知されない等）が発生した場合にはアラートが通知されます。

みまもりセンサーによって検知したデータはサーバーに自動送信され、お手元のスマートフォンアプリを通じて家族等が閲覧可能です。

図表15：やさしいみまもりアプリ



(3) みまもり支援体制の構築及び運用

上述のみまもりキットの設置により、カメラやマイク、ウェアラブルを使わずに、プライバシーに充分配慮した形で「居宅内の活動状況」及び「睡眠状況」の検知を行い、検知した活動状況・睡眠状況が日毎に確認いただけるようにしました。

図表17：やさしいみまもりアプリ（状況確認画面）



図表18：緊急時の安否確認（みまもり通知）画面イメージ



活動及び睡眠が一定時間検知されない場合、登録されている家族のスマートフォン等に「みまもり通知」をお知らせします。

各自治体との協議により本事業期間においては、家族（自助）までの通知を想定し、「X時間」、「X´（エックスダッシュ）時間」の2つを活用しています。

X時間：

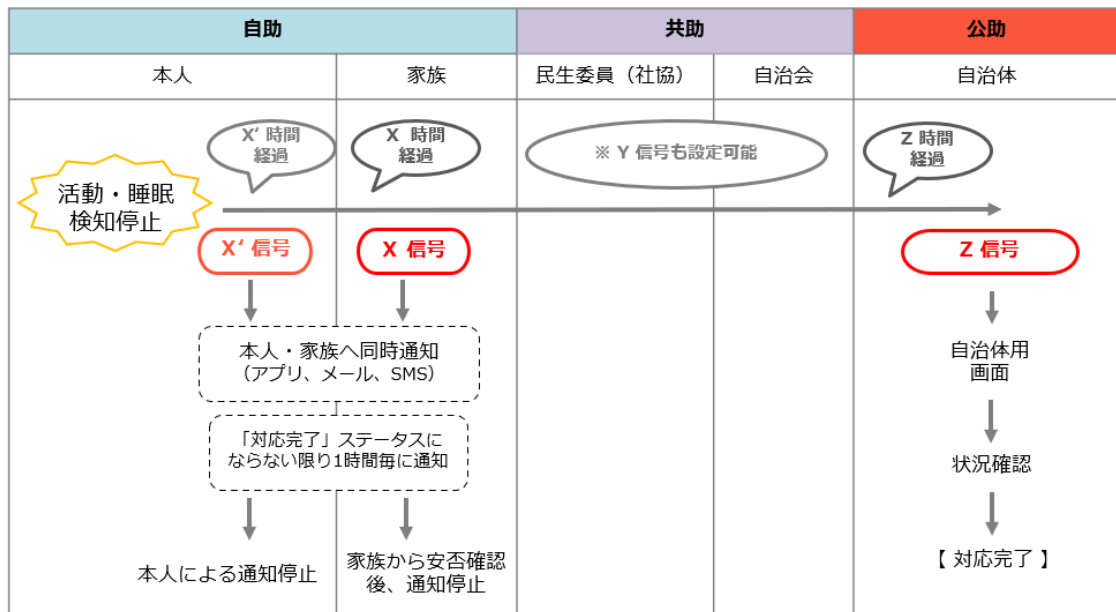
自治体及びおきでんCplusCにて設定する標準的なアラート通知時間
（48時間、72時間など）

X´（エックスダッシュ）時間：

利用者家族等が任意で設定可能なアラート通知時間。みまもりアプリ（みまもるヒト）から適宜変更が可能であり、X時間よりも短い時間で設定（12時間など）。

それ以外にも、実運用に向けては、民生委員や自治会など共助向けに通知する「Y信時間」、自治体など公助向けに通知する「Z時間」を用意しています。さらに自治体向けには管理画面を用意しており、アラート通知の対応状況や緊急連絡先等を確認することが可能です。

図表19：「みまもり通知」イメージ図



図表20：自治体用管理画面イメージ



みまもり支援体制の運用については、地域関係者（自治体・包括支援センター・区長・民生委員等）へ本システム・アプリの機能等について共有し、フィードバックをいただいています。日常のみまもり活動の他に、参加者の検知内容に異変（長期間活動が確認できない等）が生じた際に、初動対応をどのように行うかの議論・確認を行いました。具体的には、対象者のご家族や地区の関係者（区長・民生委員等）、自治体に順次連絡を行うことで、自助・共助・公助の順に優先順位を持たせて通知を行う仕組みの有用性について確認しました。

【通常業務、日常のみまもり活動について】

自治体、地域包括支援センター、民生委員との意見交換（必要な情報について）

予め把握したい基本情報

1	氏名
2	電話番号
3	住所
4	生年月日
5	家族構成 (帰省頻度、連絡先)
6	排泄頻度
7	通院情報
8	デイサービス利用情報
9	認知症有無
10	疾病等身体情報
11	その他 (触れてほしくない話等)

訪問活動時に聞き取りする情報

健康状態	
1	顔色
2	睡眠は取れているか
3	口の渇きは無いかな
4	排泄はできているか
5	食欲はあるか
6	認知症の症状は無いかな

生活環境、身だしなみ等

1	いつも同じ服を着ていないか
2	髪の毛（長さ、フケ等）
3	爪（長さ）
4	自宅から異臭は無いかな
	郵便物の溜め込みは無いかな

人、地域との関わり等

1	家族の帰省状況
2	最近の外出頻度

包 括：訪問頻度は週に1回程度。

包 括：訪問時にメモ（手書き）を残し、翌日朝礼で共有。

民生委員：訪問時にメモ（手書き）を残し、民生委員定例会等で共有。民生委員だけで対応できない場合は包括支援センターへ連絡する。

包 括：詳細を細かく記載する。（包括支援センター）データベース化され整理される点
は有用だと思う。チェック項目による選択式にも利点はあるが人（高齢者）により記
入内容が大きく異なるため項目数が膨大にならないか。現在の現場では記入による
記録がスタンダード。

C P C：承知した。システム開発側へ共有する。

自治体：利用者や家族の個人情報提供に関する同意を取っているか。

C P C：みまもりサービス導入時に取得している。利用規約にも記載済みである。

【緊急連絡先の確認、緊急時の対応等について】

区 長：タブレット等による情報漏洩対策はされているか。

C P C：利用者の登録情報はクラウド上に保管されており、タブレットやスマートフォン自
身に個人情報は保存されておらず、あくまで情報にアクセスするためのツールであ
ることを説明。端末側のパスワード設定やログイン時の二段階認証により、端末紛
失による個人情報流出対策がとられていることを説明。

区 長：タブレット等は公民館保管になると思うが、すべての区長が公民館常駐では無い。
区長や民生委員のスマートフォンから閲覧し、見逃しリスクを回避することはでき
るか。

C P C：個別の状況に応じて、スマートフォンからの閲覧も可能。

自治体：利用規約等に免責事項の記載はあるか。

C P C：利用規約に記載済みである。

【現在のみまもり支援体制について】

ア 地域ごとの連携主体

国頭村：福祉課、地域包括支援センター、自治会・民生委員

大宜味村：住民福祉課、地域包括支援センター、自治会・民生委員

東村：福祉保健課、地域包括支援センター、自治会・民生委員

伊江村：住民課、地域包括支援センター、自治会・民生委員

石垣市：福祉部介護長寿課、地域包括支援センター、自治会・民生委員

イ 連携主体間の役割分担

（ア）自治体：地域包括支援センターや自治会との連携補助。重点地区の選定。

（イ）地域包括支援センター：登録・検知情報を活用した適切な支援。家族から連絡が
あった場合、高齢者宅の状況把握補助。

（ウ）自治会・民生委員：地域包括支援センターと連携した日常のみまもり活動。家族
から連絡があった場合、高齢者宅の状況把握補助。

（エ）家族等：センサー情報を活用した日常のみまもり活動。みまもり通知を受信した

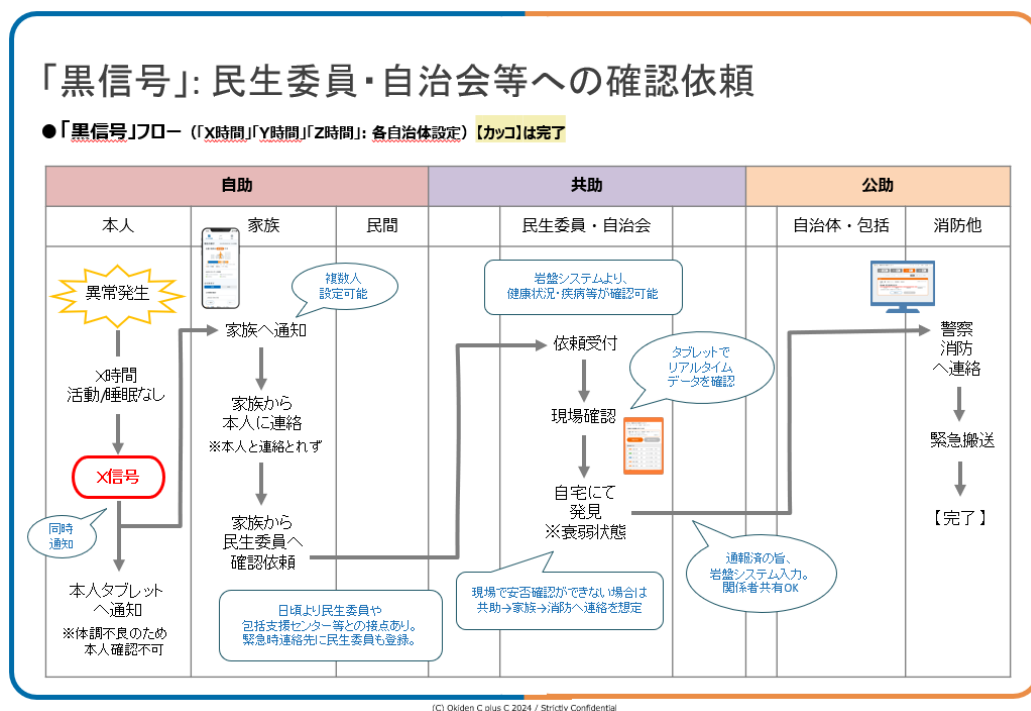
際には高齢者へ安否確認。

(オ) 民間事業者：みまもりセンサー設置・保守。検知データの提供・管理。

ウ 設置端末の利用状況：

希望のあった各自治体・地域包括支援センターに対して、自治体用管理画面・タブレット端末を提供しています。タブレット端末については現在庁内のみでの利用とし、外部への持ち出しは本格運用に向けて検討中となっています。

図表 21：「黒信号（緊急時）」対応フロー案



【事業期間中の事例について】

本事業期間中において、重点地区の利用者情報を一覧できるタブレット端末を地域包括支援センターへ貸与しています。その中で利用者本人不在時に包括支援センターと民間事業者間で連携が取れた事例が報告されました（詳細は以下のとおり）。

- ① 利用者宅を配食事業者が訪問するも本人から応答なし。不在のようなので、包括支援センターへ連絡。
- ② 包括支援センターから本人へ電話連絡。外出中の確認が取れた。
- ③ 本人の帰宅を確認したら包括支援センターから配食事業者へ連絡するよう伝える。
- ④ 本人の帰宅を包括支援センターがタブレット端末から確認し、配食事業者へ連絡。

「高齢者は耳が遠かったり、約束を忘れたりする。これまでも帰宅確認の連絡で二度手間になったりしていたが、在・不在情報が遠隔で確認できる効果を実感できた。配食事業者も他の配達を優先でき、効果的だったと思う。」とフィードバックを頂いています。

(4) アンケート調査の実施

本事業の取組に関して、参加高齢者・地区関係者等の関係者に対してアンケート調査を実施し、効果を検証しました。

a. 参加者に対するアンケート調査

本事業の実施地域が離島を含む県内5自治体にわたることから、地理的事情等を鑑み、Webフォーム・アンケート郵送や電話等によるヒアリングを実施しました。

図表21：アンケート設問【参加住民の方】

令和7年2月実施

令和6年度沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業（高齢者等のみまもり支援事業）
アンケート調査【参加者の方】

このたびは、「高齢者等のみまもり支援事業」にご参加いただき、ありがとうございます。
参加中の体験についてお聞かせいただければ幸いです。
いただいたご意見は、今後の改善に生かして参ります。

Q 1. 参加を決めたポイントは何ですか？（該当項目全てに○をつけてください）

☐ 沖縄県・自治体への信頼	☐ 知人・友人からの推薦
☐ 沖縄電力グループへの信頼	☐ 健康面への不安から
☐ 区長・民生委員等からの推薦	☐ 地域の取組に参加したいから
☐ 家族からの推薦	☐ その他（ ）

Q 2. 期間中良かったこと・困ったことはありましたか？（該当項目全てに○をつけてください）

☐ みまもられていて安心	☐ 導入の手間が少ない
☐ 生活傾向がふり返れて良い	☐ 地域住民との関わりあいが増えた
☐ 家族と連絡が増えて嬉しい	☐ アプリは使いやすかった
☐ 区長・民生委員等とのコミュニケーションが増えた	☐ アプリの表示や操作がわかりにくい
	☐ 不安が増えた

例：活動等を確認することで逆に不安が増えたなど

Q 3. 次年度も継続して利用したいですか？（該当項目に○をつけてください）

☐ 有料でも継続利用したい	☐ 検討中
☐ 無料なら継続利用したい	☐ 利用したくない

Q 4. みまもりサービスの満足度を教えてください（該当項目に○をつけてください）

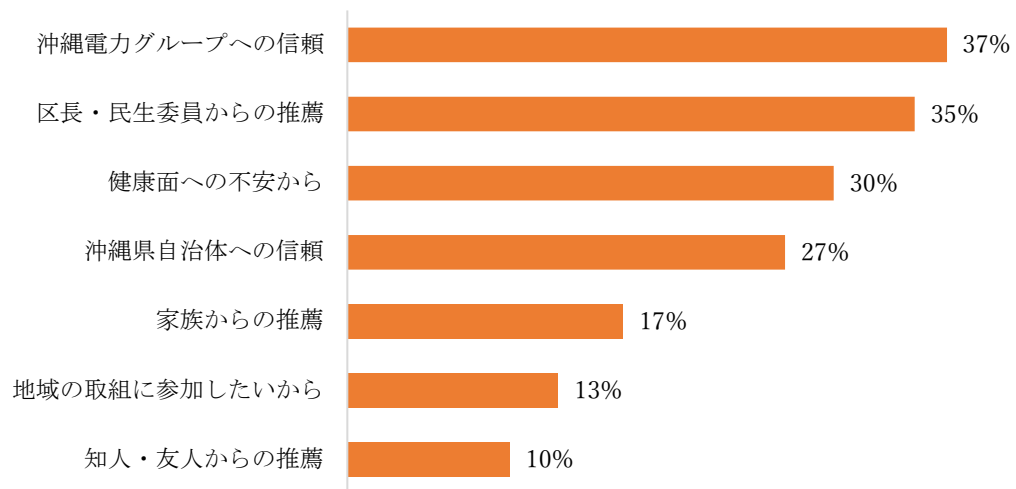
☐ 大変満足	☐ 満足
☐ 普通	☐ 不満

Q 5. そのほか感じたこと・今後の改善点などあれば、自由にご記入ください。

アンケート調査の主な結果については、以下のとおりとなりました。（回答数：61件）

- ・参加を決めたポイントとしては、「沖縄電力グループへの信頼」で、次いで「区長・民生委員からの推薦」、「健康面への不安から」が続きます。また、「沖縄県自治体への信頼」も比較的高い割合を占めています。この結果から、信頼性の高い組織や公的機関の存在が、参加の大きな決め手になっていることが分かります。

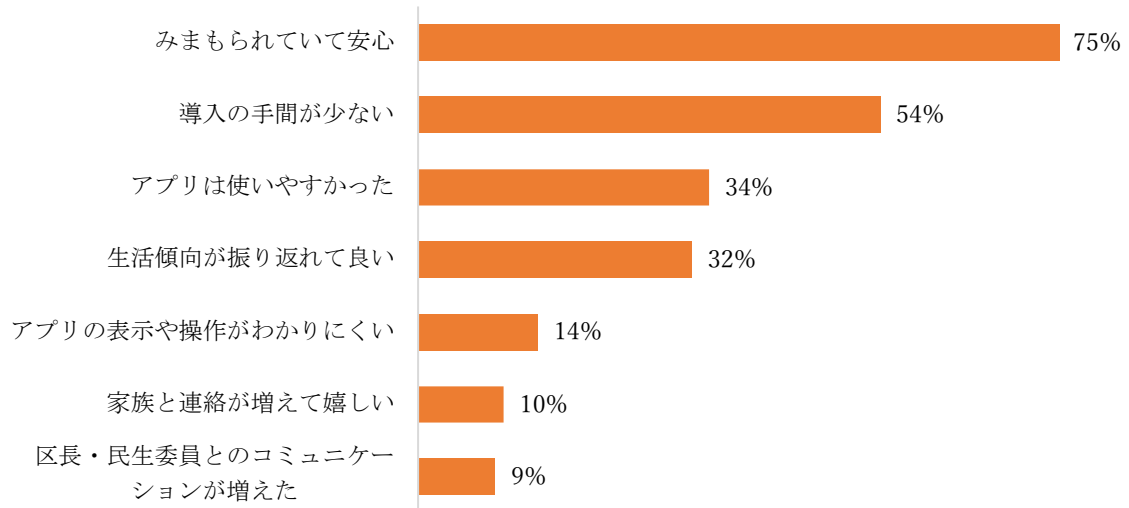
Q1 参加を決めたポイントは何ですか？



- ・期間中良かったこと・困ったこととして、最も多かった回答は「みまもられていて安心」で、次いで「導入の手間が少ない」、「アプリは使いやすかった」、「生活傾向が振り返れて良い」が続いています。一方で、「アプリの表示や操作がわかりにくい」と感じた人もおり、改善の余地があることが伺えます。

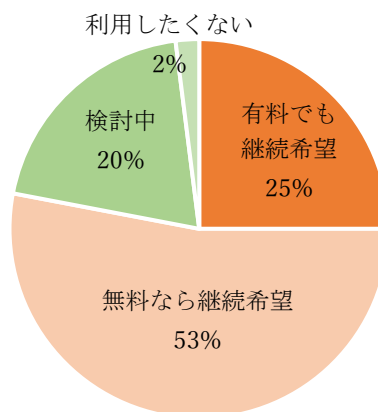
「区長・民生委員とのコミュニケーションが増えた」や「家族と連絡が増えて嬉しい」といった回答も少数ながら見られ、地域や家族とのつながりの変化も一部の人に影響を与えていることが分かります。

Q2 期間中良かったこと・困ったことはありましたか？



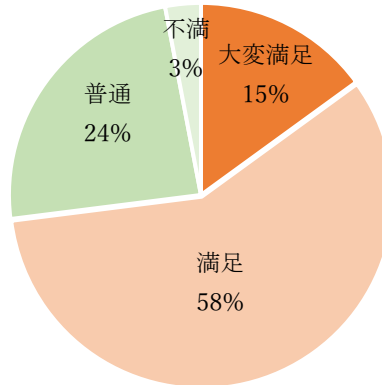
- ・「次年度も継続して利用したいですか」との質問に対しては、回答者の約7割以上が継続を希望する回答となり、本事業の取組の効果が十分にあったことがうかがえます。

Q3 次年度も継続して利用したいですか？



- ・みまもりサービスの満足度についての質問では、「大変満足」「満足」合わせて7割を占める結果となりました。

Q4 みまもりサービスの取組に対する満足度を教えてください



(利用者からの評価コメント) ※一部抜粋

- ・ 安心につながり、有難いと感じている (利用者本人より)
- ・ 都会から大宜味に越してきて、知らない人ばかりだったが、民生委員がよくしてくれる。その民生委員からの推薦だったから導入した。センサーがあっても気にならない。生活に支障はない (利用者本人より)
- ・ 姪っ子とのコミュニケーションが増えて嬉しい (利用者本人より)
- ・ 高齢者だけでなく、一人住まいの人にも必要だと思う。広くみまもりセンサーが各家庭にあって人々が安心して過ごせたら幸せ間に至ると思います (利用者本人より)
- ・ 旧センサーに比べてコードが少なくなり煩わしさが減った (利用者本人より)
- ・ 認知症が進み、携帯を何度もなくし通信手段がない中で、離れている家族が状況を把握するのに大変有効なアイテムだと思います。設置やサポートについても丁寧で沖縄電力さんにはとても感謝しています。是非来年以降も続けてほしいです (家族より)
- ・ 開始時に貸してもらったWi-Fiは電波が弱く感知が少し悪く感じた。自宅に光ネットを引いてからは感知度が良くなった。毎日様子を見に行くことは難しいので、このアプリで動きを見て元気だなと安心している。本人は、みまもられている感じはなく、自然に過ごしている。それが良いと思う (家族より)
- ・ 反応の感度。アラーム的なお知らせがケアマネさんなどにも届くといいですね。不在が続く場合などに、簡単に切りかえができるといいですね。あとは、スケジュール (在宅) も設定できるなど。ありがとうございました！ (無記名)

- ・ 階下に住む母親の見守りに活用させてもらい感謝しています。特に夜中の行動確認に役立っています。（家族より）

（利用者からの改善コメント） ※一部抜粋

- ・ 機器の画面に睡眠時間が表示されないケースが時々ある（利用者本人より）
- ・ 施設に居るのですが、絶対に部屋に居るのに反応していない事があると心配になります。24時間、反応していない時があって、連絡しようと思ったら反応し出したのでしませんでした。もう少し感度が良くなってほしいと思います（家族より）
- ・ アプリで表示される目盛りが3時間ごとになっていますが、もっと細かく、最低1時間単位であれば便利です。（家族より）

b. 地域の関係者に対するアンケート調査

5市村それぞれの自治体・区長・区関係者・社協・包括・民生委員など、本事業に地域の関係者として参加いただいた方々20名に対してアンケート調査を行い、11件の回答を得ました。

図表22：アンケート設問【地域の関係者様】

令和7年2月実施

令和6年度沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業（高齢者等のみまもり支援事業）
アンケート調査 【地域の関係者様】

このたびは、「高齢者等のみまもり支援事業」への様々なご協力をありがとうございました。
2月末の県事業報告書作成に向けて、下記アンケート調査にご協力ください。
いただいたご意見は、今後の改善に生かして参ります。

Q 1. 今回の事業へのご協力の背景は何ですか？（該当項目全てに○をつけてください）

- () 地域における高齢者とのコミュニケーションが薄れてきた
- () 地域における助け合いの意識が薄れてきた
- () 地域における急速な高齢化
- () 地域における単身高齢世帯の増加
- () 地域で暮らす高齢者の孤独死の発生に対する不安
- () 高齢者みまもり等の業務負担増加
- () 地域で暮らす高齢者・家族からの不安の声

Q 2. 地域における「高齢者みまもり」の現状を教えてください
(該当項目全てに○をつけてください)

- () 良好にできている
- () 高齢者対応において、必要な世帯をカバーできていない
- () 「高齢者みまもり」に対する業務・人的負担が多い
- () 「高齢者みまもり」を担う人的リソースが不足している
- () 「高齢者みまもり」の負担が一部に集中している
- () 「高齢者みまもり」取組の効率化が進んでいない
- () 孤独死などへの対応が不十分
- () 地域で暮らす高齢者・家族から問い合わせ・不安の声がある

Q 3. 期間中の状況について感想をお聞かせください（該当項目全てに○をつけてください）

- () 事業運営は良好 () 導入の手間が少ない
() 高齢者から「安心した」の声 () 地域住民との関わりあいが増えた
() 家族から「安心した」の声 () アプリの在・不在情報は業務に活用出来ると思う
() 地域の高齢者とのコミュニケーションが増えた () アプリの表示や操作がわかりにくい
() 不安が増えた

例：活動等を確認することで逆に不安が増えたなど

(裏面に続きます)

(表面から続きます)

Q 4. 来年度以降の高齢者みまもりにどう取り組んでいきたいと思いますか
(該当項目全てに○をつけてください)

- | | |
|--|--|
| ☐ 設置数を増やしたい | ☐ 社協/包括の関わりを増やしてほしい |
| ☐ 現状規模の設置数で継続したい | ☐ 高齢者とのつながり(結)
(みまもり活動にかかわらず、
コミュニケーションの増加) |
| ☐ 地域の「安心」を高めたい | ☐ 自治体の関わりを増やしてほしい |
| ☐ 自治体の関わりを増やしてほしい | ☐ 地区関係者の連携強化を図る
(情報共有の仕組みによるDX化等) |
| ☐ 区の関わりを増やしてほしい | ☐ 住民の高齢者福祉への意識醸成 |
| | ☐ 他の地域にも本取組を紹介したい |

Q 5. みまもりサービスの取組に対する満足度を教えてください
(該当項目に○をつけてください)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| ☐ 大変満足 | ☐ 満足 |
| ☐ 普通 | ☐ 不満 |

Q 6. そのほか感じたこと・改善点などあれば、自由に記入ください。

Q 7. 最後にご回答者について教えてください(該当項目に○をつけてください)

市村名 [国頭村・ 大宜味村 ・ 東村 ・ 伊江村 ・ 石垣市]
ご所属 [自治体・ 包括 ・ 区 ・ 社協 ・ その他]

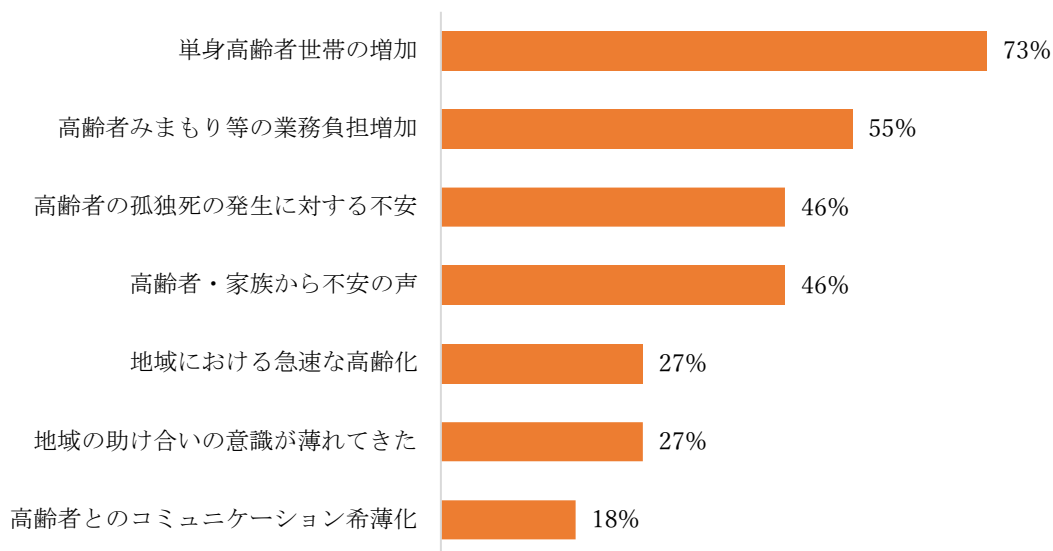
回答者氏名(任意)

ご回答おつかれさまでした。
貴重なご意見をありがとうございました。

アンケート調査の主な結果については、以下のとおりとなりました（回答数：11件）

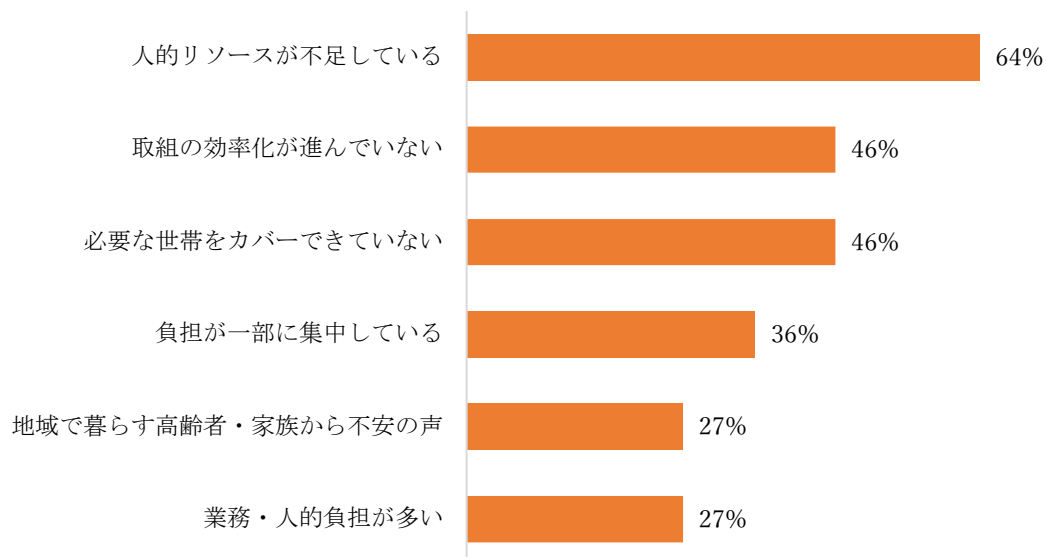
- ・本事業への協力の背景については、「地域における単身高齢者世帯の増加」、次いで「高齢者みまもり等の業務負担増加」、「地域で暮らす高齢者の孤独死の発生に対する不安」、「地域で暮らす高齢者・家族からの不安の声」が続き、全体として、高齢者の増加に伴う生活支援や見守りの必要性が高まっていることが、事業への協力の背景となっていることが分かります。

Q1 今回の事業へのご協力の背景は何ですか？



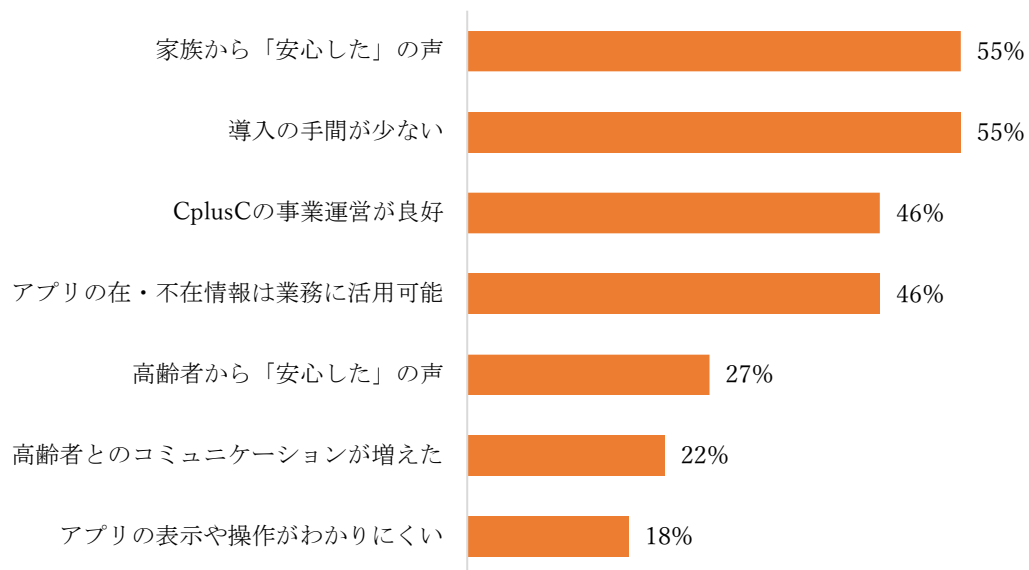
- ・地域における高齢者みまもりの現状については、「人的リソース不足」への回答が多く、これに関連して、「取組の効率化」の必要性を求める意見も見られ、現状のみまもり活動の手法を続ける場合には、人的リソースに大きな懸念を感じている関係者が多いことが明らかとなりました。

Q2 地域における「高齢者みまもり」の現状を教えてください



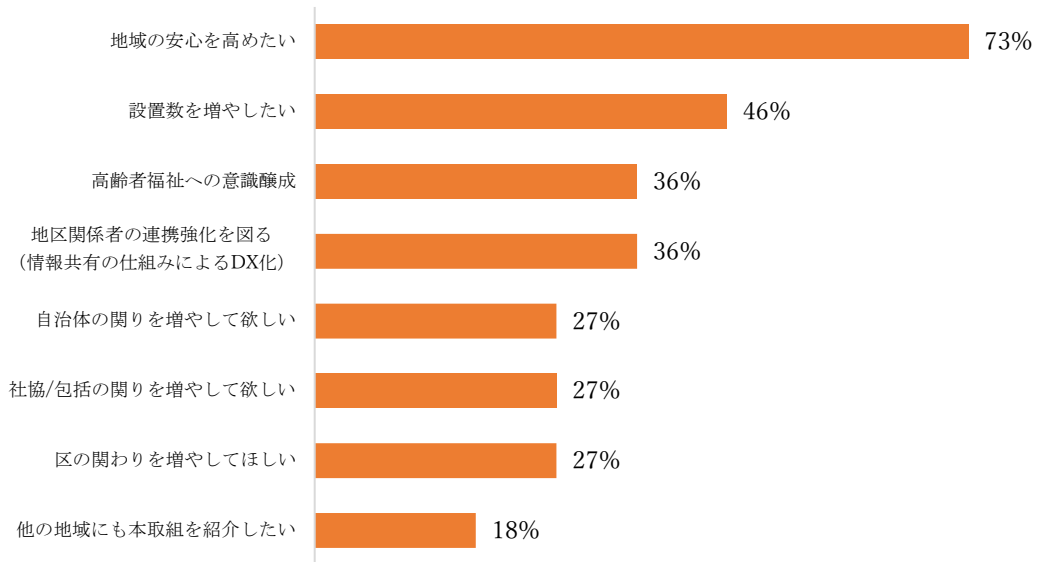
・期間中の状況については、「家族から「安心した」の声」と「導入の手間が少ない」に最も回答が集まり、に次いで「CplusCの事業運営が良好」との回答が多く見られました。高齢者宅の在・不在情報を地域関係者にも閲覧できる環境を構築したことで「業務に活用可能」にも一定数の回答があり、実運用時のイメージが高まったと考えられます。

Q3 期間中の状況についてお聞かせください



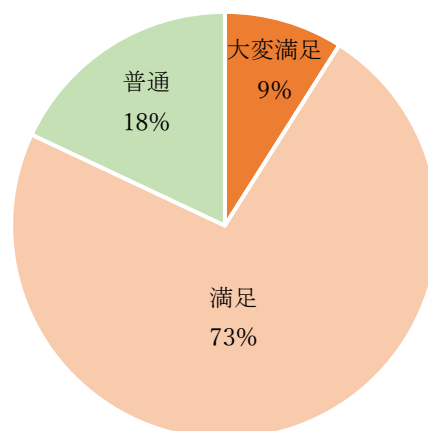
- ・来年度以降の高齢者みまもり活動の方向性については、「地域の安心を高めたい」「設置数を増やしたい」「意識醸成」などの回答が多く、多くの世帯への普及を望む声が各関係者から示された結果となりました。

Q4 来年度以降の高齢者みまもりにどう取り組んでいきたいと思いますか



- ・本事業のみまもりサービスに対する満足度については「大変満足」「満足」あわせて8割以上の方が満足を示す結果となりました。「不満」と回答した方は、みられませんでした。

Q5 みまもりサービスの取組に対する満足度を教えてください



(地域関係者からのコメント) ※一部抜粋

- ・ 今後も、協力して安心安全な地域づくりに取り組んで行きたいと思います。
- ・ これまで通り、おきでんCplusCさんに地域の行事に参加してほしい。区もこれまで同様CplusCに協力します。
- ・ 見守りがあると良いと思う利用者さんがいるが見守る家族がいない。機械に不具合があった時に確認する手段が無い（近くに家族や知人がいない方）。今後、島内に家族がいない方で、県外に家族がいる方におすすめしたい。
- ・ 家族との繋がりを選択肢として、みまもりサービスがあるので、本当に見守りたい家族が安心して使えるシステムと仕組の満足度を更にあげていく事が、選ばれ続ける理由に繋がると思う。
- ・ 人材不足であり、市の業務負担軽減も考え取り入れたが、自治体に管理業務等の業務が入ると逆に業務負担増になるため、実施できない現状である
- ・ 「今は無料だけど、あとから有料になるよね」とか話している人もいますが、どんなもののでしょうか？年金暮らしで出費が気になるようです。

4 事業の成果

(1) 概要

5市村の高齢者単身世帯を中心に計111世帯に対してみまもりサービスを提供し、居住者の在宅時の活動状況をご家族・地域のみまもり関係者が把握できるようになりました。地域のみまもり体制構築に寄与するとともに、参加者・地域関係者アンケートでも高い評価をいただき、本事業のKPIについて2項目中1項目を達成しました。

KPI① ICT等を利用したみまもりを実施する世帯数：350世帯以上 → 111世帯（未達）

未達理由として、活動対象地域において高齢者の特殊詐欺被害が発生したことにより、地域外の事業者が集落内で活動することに対して警戒感が高まりました。地域関係者からも住民の不安感が払拭されるまで事業者単独での活動を控えるよう要望があり、高齢者宅の訪問活動に制限がかかったことで十分な募集活動ができませんでした。さらには既存利用者の逝去や施設入所等による機器撤去も発生しています。これらの外部的要因により、KPI目標値としていた利用者数確保が未達となりました。

KPI② サービス利用の満足度：65%以上 → 達成

- a. 利用者（本人・家族） 大変満足 9%＋満足73% 計82%が満足以上と評価
- b. 地域の関係者 大変満足15%＋満足55% 計70%が満足以上と評価

(2) 詳細

活動対象地域における高齢者の特殊詐欺被害により、事業者単独での訪問活動に制限がかかったものの、重点地区においては、公民館を介した周知活動や、高齢者宅訪問時に区長や民生委員などの地域関係者に同行していただくなどの工夫を行ったことにより、普及率を高めることができました。次年度においても地域関係者の同行を継続することで、住民の安心感を担保できる活動を実施したいと考えています。また、地元自治体と協議した結果、地域包括支援センターによるタブレット端末活用の検証開始されており、通常業務への活用や、区長や民生委員による活用・保管方法等について議論していくこととしております。

【重点地区におけるみまもりサービスの導入状況】

- ・根路銘区 対象世帯数20世帯の内、12世帯で導入済（普及率60%）
- ・饒波区 対象世帯数12世帯の内、6世帯で導入済（普及率50%）

その他、自治体広報誌・SNSでの情報発信、新聞広告、役場や公民館へのチラシの設置・配布、地域の関係者や地域住民向けの説明会の開催、個別の問い合わせ対応等を行いました。

実施したアンケート調査によると、みまもりサービスの取組への満足度について高い評価をいただき、サービス利用の満足度KPI：65%以上を達成しています。アンケートでコメ

ントのあった機器やアプリに関する改善点については、システムのアップデート等によって改善・対応し、事業の効果がさらに高まるよう努めて参ります。

地域の関係者からは、「導入の手間が少ない」「高齢者や家族から「安心した」の声」との回答が見られました。また、「地域の安心を高めたい」「設置数を増やしたい」「意識醸成」などの回答から、多くの世帯への普及を望む声が各関係者から示された結果となったことも、本事業の成果の一つと言えます。

【他自治体の視察について】

本事業については、高齢者みまもりの先進的取組事例として、全国自治体の関心度も高く、多くの問い合わせがあります。各自治体において導入検討を行うあたり、現地の利用者宅視察やインタビュー、自治体関係者との意見交換を実施しています。

行政の人的リソース不足や高齢者世帯の増加は差し迫った課題であり、自治体関係者は数年先を見据えて動いています。家族や地域が主体となる高齢者みまもりを推進する自治体もあることから、引き続き、本事業の取組を県内外に周知し、展開できるよう努めたいと考えています。

図表23：和歌山県知事の大宜味村視察



今後も、地域関係者の「地域の安心を高めたい」「設置数を増やしたい」などの要望に応じて、重点地区における設置高齢者世帯率100%を目指し、より満足度が高く、効果を実感していただけるように取り組んで参ります。設置高齢者世帯率100%を達成することにより、孤独死対策や地域の連絡網DX化（デジタル整備）、みまもり体制の充実等に加えて、「見える

化」の優位性を生かした日常的なコミュニケーションを増加等、弊社のみまもりサービスが
目指す高齢者等が安心して暮らせる地域社会の実現に近づくと考えています。

（３）自走化に向けた次年度の取組

各自治体における令和８年度以降の自走化に向けて、令和７年度は以下に注力して取り
組んで参ります。

【重点地区の拡大】

これまでの取組を通して、対象地域内に点在して利用者を増やしていくのではなく、字単
位で重点地区を設定して、地区内の高齢者全世帯を対象に面的普及を図ることで、区長や公
民館を中心に民生委員や近隣住民の協力を得ながら、地域のみまもり体制構築が実現でき
ました。重点地区を設定することにより、各世帯への個別訪問ではなく、一か所に集めて実
施する説明会方式での事業説明が容易となり、さらには区民向けの定期配布物と併せて告
知チラシを配布することで、時間と人的リソースを集中して、より効率的かつ効果的に事業
を進めることが可能になります。

また、将来的な普及拡大を進めるにあたり、重点地区での成功事例や蓄積された知見を近
隣の地区に横展開していく手法をとることで、運営スタッフ間の情報共有やノウハウの引
き継ぎ等も効率的に行うことが可能です。

【予算の獲得】

本事業を通して、自治体、区長、民生委員および地域住民等に対して「やさしいみまもり」
の事業内容の理解を深めることができました。ただし、これまでは沖縄県補助事業として実
施してきたことから、自治体側の費用負担は発生しておらず、費用感の共有は十分に図れて
おりません。令和８年度以降の自走化を目指すにあたりましては、自治体側と調整の上、利
用者の対象範囲（年齢層・人数等）を確定し、全体の予算感を把握する必要があります。事
業者より、高齢者数などの地域特性を反映し、対象人数に応じた予算規模を提示致します。
また、具体的な予算化にあたっては、関係部署との庁内調整や議会開催時期が重要になるこ
とから、イベント毎に遅延が生じることなく、適切なスケジュール管理を進めて参ります。

（スケジュール例）

令和７年６月	対象範囲（年齢層・人数等）に関する自治体調整
〃 ７月	対象範囲の確定。概算見積の提示
〃 ９月	新規予算計上に係る庁内説明
令和８年３月	３月議会にて令和８年度予算の承認

【役割の明確化】

自走化にあたり、利用者とその家族の役割、自治体・区長・民生委員等の地域関係者の役割、事業者の役割を明確に定める必要があります。また、発生しうる事例に応じて、それぞれの立場からとるべき対応について、一覧表にとりまとめた上、シナリオの作成やシミュレーション等を通して共通認識を持つ必要があります。これまでどおり利用者や家族向けの説明を適切に実施しつつ、自治体関係者向けの説明会や模擬訓練等を開催する予定です。さらに、関係者の役割を明確化した上、その内容については、自治体との協定または覚書等により関係者間での確実な共有を図って参ります。

以 上